

ヤックさいたま支部通信

日本宇宙少年団さいたま支部

10月の活動

平成29年9月号

〒330-0853

さいたま市大宮区錦町682-2 宇宙劇場内事務局 (齊藤・鳶田・新井・小林)

<http://www.ucyugeki.jo.jp/> TEL048-647-0011 FAX048-647-0066



活動日	場所・時間	活動内内容等
14日(土) ～ 15日(日)	集合8:30 JACK大宮1F 解散 17:00 桜木駐車場	○YAC天体観望会 ・14日、世界遺産の小川和紙の紙漉き体験。小川げんきプラザで天体観望。 ・15日は、JAXA鳩山の見学を行います。 説明会は、10月1日(日)10時、宇宙劇場5F。※詳細は、別紙にて。 ※申し込みは、往復はがきで9月20日(水)まで。必着
28日(土)	集合9:30 東浦和駅 解散12:00 東浦和駅	○自然観察「東浦和・見沼通船堀」 ・パナマ運河より180余年前に(1731年)開通した閘門式運河(こうもんしきうんが)を見学します。 ※申し込みは、10月14日(土)まで。(受付10:00～18:00)

○第9回宇宙飛行士ゆかりのまち サミット茅ヶ崎

8月9日(水)、猛暑の中、宇宙少年団の代表5名と神奈川県茅ヶ崎市に行ってきました。

茅ヶ崎市は、宇宙飛行士野口聡一さん、土井隆雄さんを輩出したまちで、野口さんが宇宙から帰還した日を記念して8月9日を「宇宙記念日」に制定し、毎年イベントを行っています。

今年度は、「第9回宇宙飛行士とゆかりのまちサミット」が茅ヶ崎市役所で開催され、宇宙少年団さいたま支部も参加して発表に行ってきました。(宇宙サミットの第1回は、旧大宮市で行われました。)



サミットの内容は、第1部では、宇宙飛行士の父母対談がありました。会場には、野口さんと油井さんのお父様が登壇し、松戸市には、山崎直子さんのご両親が待機していました。それぞれの宇宙飛行士の子も時代についてお話を伺いました。野口さんは、テレビのサンダーバードで宇宙への夢を育んだことや、油井さんはゲームが大好きだった事もわかりました。また、3人に共通していることは課外活動(野球、ボイスカウト、ピアノ等)に熱心に取り組んでいた事で

す。3人とも子どもの頃から、宇宙への大きな夢があったようです。

第2部では、子どもテレビ会議が行われました。前半は、インターネットで結ばれた4市町村の発表がありました。(北海道余市町、千葉県松戸市、長野県佐久市、兵庫県太子町)その後、会場に来場している団体の発表でした。発表のトップは、さいたま市でした。矢作太一君の司会で、最初に尾崎幹規君がさいたま市のまち自慢を行いました。(J1のチームやプラネタリウムが2つある等)次に、吉田菜那さんがさいたま支部の紹介、須藤颯斗君が宇宙飛行士ゆかりのまちサミットについて発表し、最後に若井優吾くんが宇宙への夢を堂々と発表してくれました。短時間のリハーサルでしたが、団員は、本当によく頑張ってくれました。発表後、青少年宇宙科学館長 井出 浩史様より指導講評があり、大変よく頑張ったというねぎらいの言葉



をいただきました。当日、一緒に引率された保護者の皆様、ご支援ご協力ありがとうございました。

☆筑波宇宙センター見学

8月26日(土)



8月26日(土)に団員32名、保護者12名、事務局3名、計47名の参加で筑波宇宙センターの見学会に行ってきました。午前中は、国立研究開発法人、産業技術総合研究所内にある世界的にユニークな地球科学専門の「地質標本館」を見学しました。第1展示室では約1100万年前に絶滅した哺乳類の先祖デスモスサウルスの骨格模型、第2では、太平洋の海底模型、第3では、富士山の立体模型、第4では、鉱物や化石の展示を興味深く見学しました。また、当日は、「地球何でも相談」の日で「化石のレプリカ作り」が行われ、団員の多くがアンモナイトの化石の標本作り等にチャレンジしていました。昼食後、バスで移動して筑波宇宙センターに向かいました。

筑波宇宙センターでは、最初に「スペースドーム」の見学をしました。スペースドームは、ロケットや人工衛星の歴史、国際宇宙ステーション「きぼう」の実物大モデル等を見学し、宇宙への夢を大いに育みました。

さあ、いよいよバス見学ツアーです。最初に「きぼう」の運用管制室の見学です。宇宙時間の午前5時頃。宇宙飛行士たちは、まだ睡眠中、管制室は、そのせいか閑散としていました。管制官のリーダーが団員たちに気づいて手を振ってくれました。私たちも負けずに手をふりました。案内人の方から、みなさんは大変ラッキーですねと言われました。

次は、宇宙飛行士養成エリアの見学でした。ロビーで宇宙服を見て、その後、宇宙飛行士の基礎訓練の場所・健康管理のための施設等を見学しました。閉鎖空間の施設を見ていた団員は、「あんな施設に何日もい

たら耐えられないな。」と正直な感想を述べていました。70分の見学ツアーは、あっという間に過ぎました。最後に、ロケット広場でH-IIロケットを背景に全員で記念写真を撮り、宇宙センターを後にしました。団員それぞれ宇宙への思いを新たにしました筑波宇宙センターの見学会でした。

最後に埼玉県出身のJAXA第一宇宙技術部門ALOS-2(地球観測衛星「だいち2号」)のプロジェクトマネージャー祖父江 真一様が宇宙少年団の激励にかけつけてくれました。子ども達はおみやげも頂き大喜びでした。祖父江様ありがとうございました。

☆9月の星空カレンダー

6日 満月

12日 水星が西方最大離角度

13日 下弦

18日 敬老の日

20日 新月

23日 秋分の日

28日 上弦

☆惑星情報

水星：日の出前の東の低空に位置し、12日に西方最大離角度。10日から16日まで、日の出前30分前の高度が10度を超え見やすい。

金星：日の出前の東の空の低空で輝いている。

火星：しし座にあり、日の出前の東の低空に位置している。太陽に近いので観察は不適。

木星：おとめ座にあり、日の入後の西の低空に見える。下旬は、観察不適。

土星：へびつかい座にあり、日の入後の南から南西に見える。

☆地質標本館クイズの答え

1はA、2はB、3はA、4はB、5はBです。

☆2学期がはじまりました。団員のみなさん、お元気ですか。学校でいやなことや困ったことがあったら、宇宙劇場で星を見ませんか。職員一同、お待ちしております。